

参天製薬株式会社

2019年度第1四半期連結業績概要



2019年8月1日

代表取締役社長兼COO

谷内 樹生

常務執行役員 企画本部長

鈴木 聡

常務執行役員 CSO

ナヴィード・シャムズ

参天製薬の基本理念・基本使命

天機に参与する

〈基本理念〉

中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。
自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。

肝心な事は何かを深く考え、どうするかを明確に決め、迅速に実行する。

〈基本使命〉

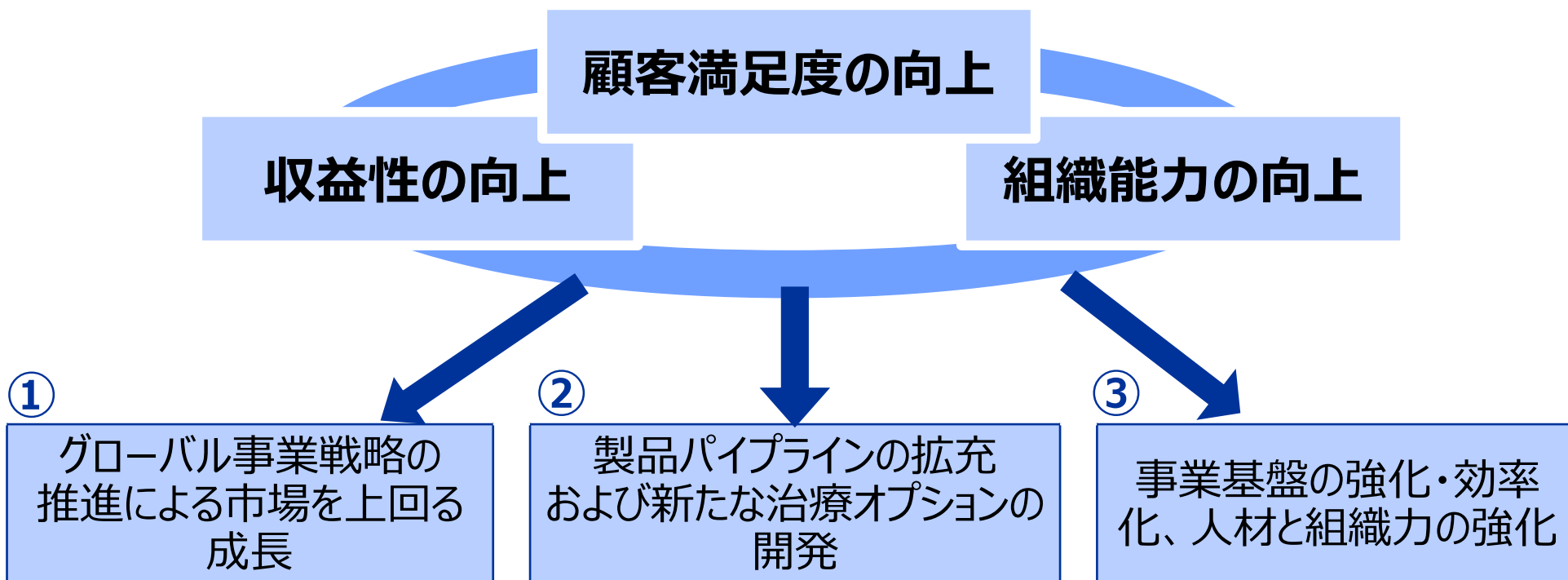
**「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、
これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、
患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、
社会への寄与を行う。**

「MTP2020」基本方針と、3つの「向上」

基本方針

- 「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現
- 2020年度以降の持続的成長に向けた道筋の構築

3つの「向上」



世界の患者さんと医療関係者のニーズに応えることで確実な成長を遂げ、
持続的に世界の眼科治療に貢献する。

2019年度第1四半期 ハイライト

■ 通期目標達成に向けて、順調なスタート

- 売上収益：591億円（27億円、4.7%の増収）
- コア営業利益：128億円（11億円、9.6%の増益）

■ 海外事業が、24.7%成長（円建て）のアジアを中心に大きく成長、海外売上比率35%超へ

■ PRESERFLO MicroShuntのGlaukos社との販売提携により、米国での成長に向けた準備も着々と進む

■ 国内新製品（エイベリス点眼液、レンティス コンフォート）の市場浸透に引き続いて注力

2019年度第1四半期 連結決算概要

2019年度第1四半期業績

海外事業の大きな成長により、増収・増益（コアベース）

(億円)	2018年度		2019年度	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	対前期 増減率
(コアベース)				
売上収益	565	591	4.7%	
売上原価	-230	-241	4.8%	
売上総利益	335	350	4.6%	
販管費	-162	-160	-0.8%	
研究開発費	-56	-62	9.9%	
営業利益	117	128	9.6%	
当期利益	86	97	12.1%	
(フルベース)				
営業利益	100	92	-7.7%	
当期利益	69	64	-6.7%	
USD	108.87	109.86	-0.9%	
EUR	129.57	123.06	5.0%	
CNY	17.01	16.14	5.1%	

+ : 円高、- : 円安

売上収益

国内：重点製品の継続的な成長・新製品投入により、堅調に推移
海外：アジアを中心に、引き続き好調に推移

⇒27億円の増収（+4.7%）

営業利益（コアベース）

- 海外の順調な成長
- 各事業における費用最適化効果

⇒11億円の増益（+9.6%）

営業利益・当期利益（フルベース）

DE-128の償却開始、同じくDE-128の開発進捗・業務提携によるマイルストーン支払時期・確度の見直しの影響により、一時的に費用増加。

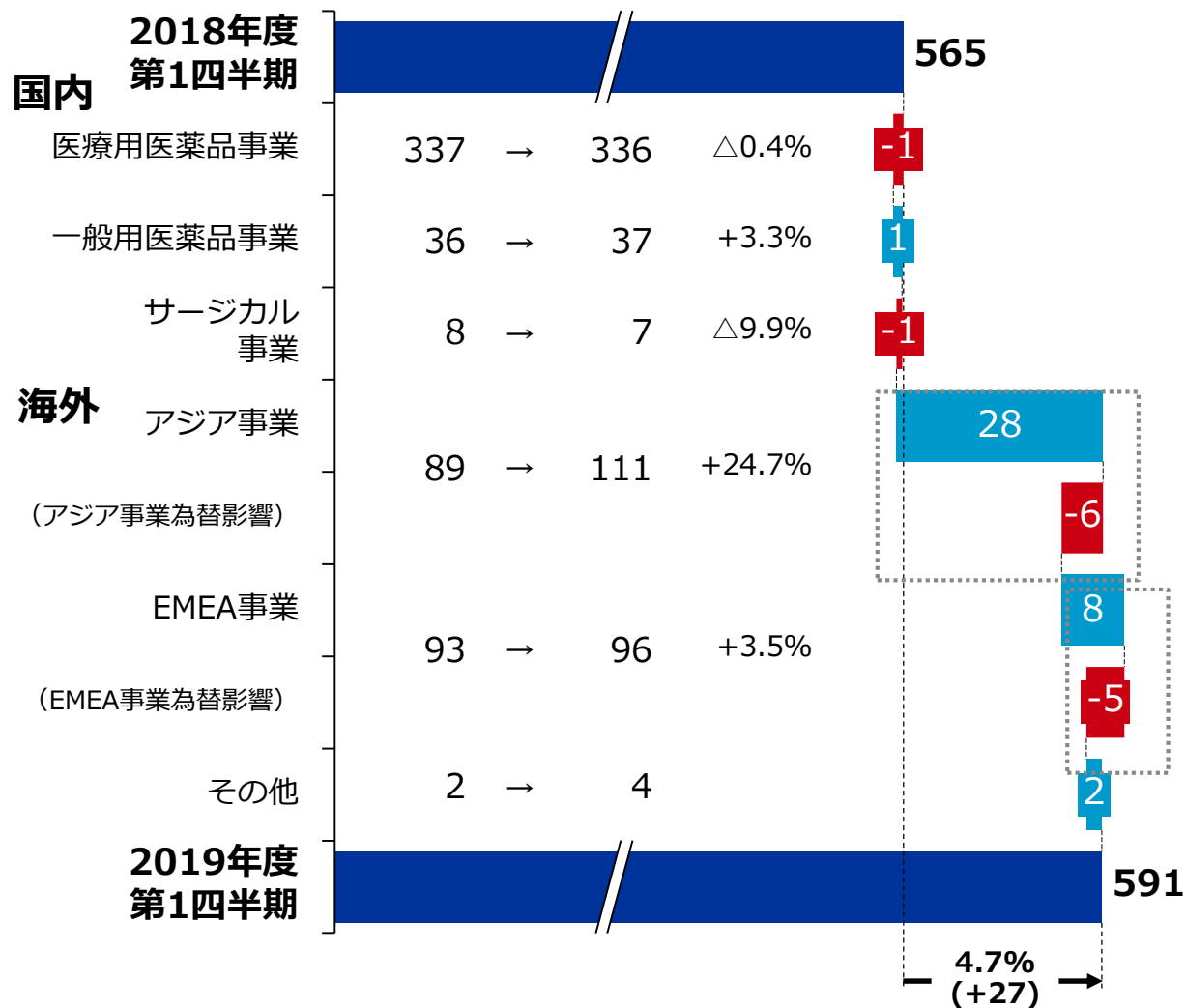
営業利益⇒8億円の減益（-7.7%）

当期利益⇒5億円の減益（-6.7%）

2019年度第1四半期 売上収益

為替のマイナス影響を上回る海外の成長がグループを牽引

【億円】



国内事業

医療用医薬品 アイリーア*1 (+8.4%)・ジクアス (+7.4%) が順調に伸長。2018年11月末上市のエイベリス点眼液の市場浸透も進む。

一般用医薬品 国内向け高価格帯製品を中心に好調に推移。

サージカル事業 遠方・中間距離の快適な視力を提供する新製品レンティス コンフォートを4月より正式発売。

海外事業

アジア事業 前期に引き続き各国で順調に推移し、20%を超える増収。
中国：+26.3%、韓国：+27.0%（円建て）
（現地通貨建て 中国：+33.1%、韓国：+39.4%）
アジア全域→上市：9製品、承認取得：2製品
既存製品と併せ、今後の持続的成長につなげる。

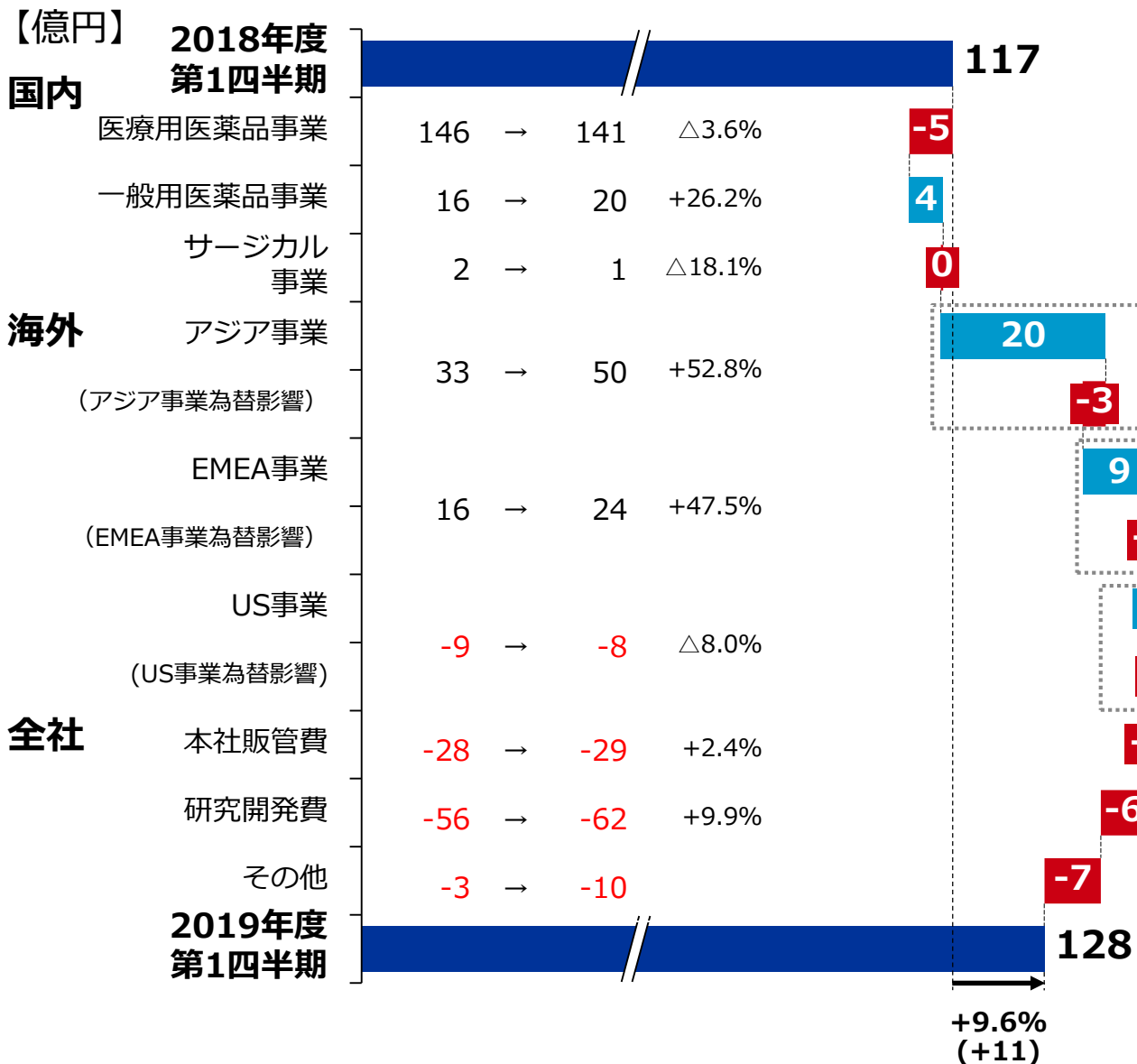
EMEA事業 為替影響受けるも、Ikervisがドイツ・UKを中心に、緑内障製品も主要国で順調に推移。€ベースでは9.0%の増収。

	2018年度第1四半期	2019年度第1四半期
USD	JPY 108.87	JPY 109.86
EUR	JPY 129.57	JPY 123.06
CNY	JPY 17.01	JPY 16.14

アイリーア*1：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

2019年度第1四半期 コア営業利益

海外の順調な成長と、グループ全体での費用最適化により、約10%の増益



国内事業	
医療用医薬品	プロダクトミックスの影響による原価率上昇の影響を、費用最適化により緩和。

海外事業	
アジア事業	売上の成長により、利益も大きく伸長。
EMEA事業	主要国・ロシア・北欧での成長とともに、費用最適化にも努め、増益。

研究開発費	
主として、DE-109、DE-117の米国臨床試験開始による増加。	

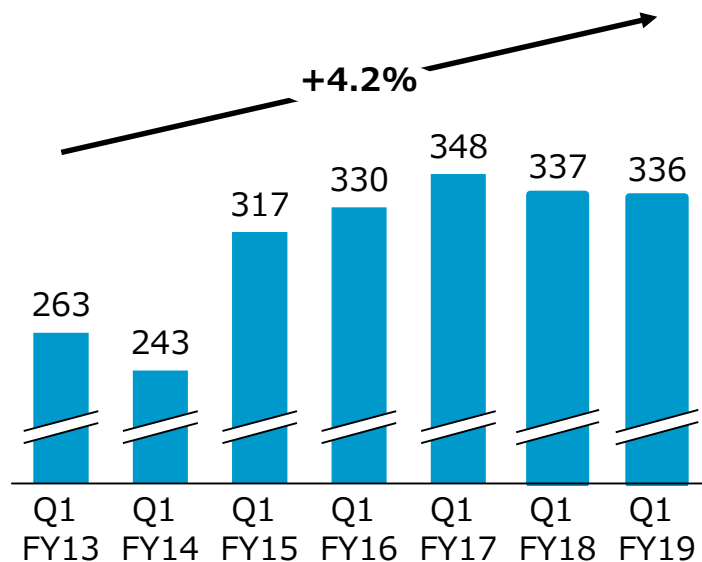
	2018年度第1四半期	2019年度第1四半期
USD	JPY 108.87	JPY 109.86
EUR	JPY 129.57	JPY 123.06
CNY	JPY 17.01	JPY 16.14

事業別実績推移 (国内)

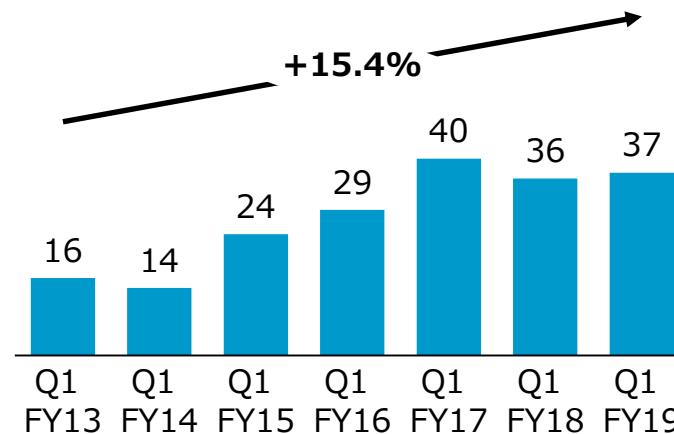
(億円、CAGR)

【医療用医薬品事業】

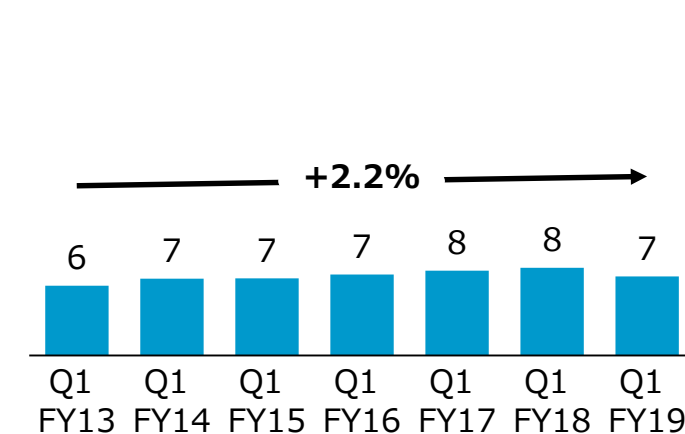
売上収益



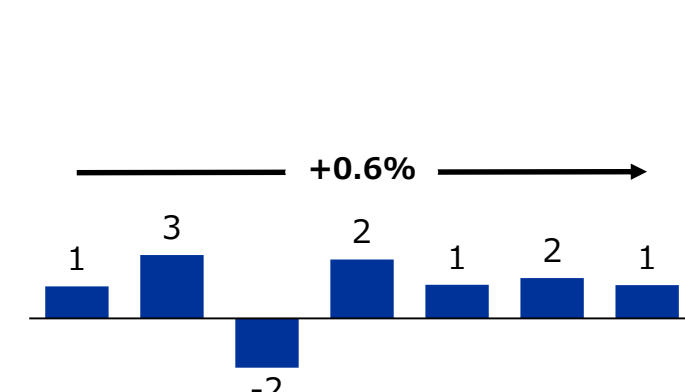
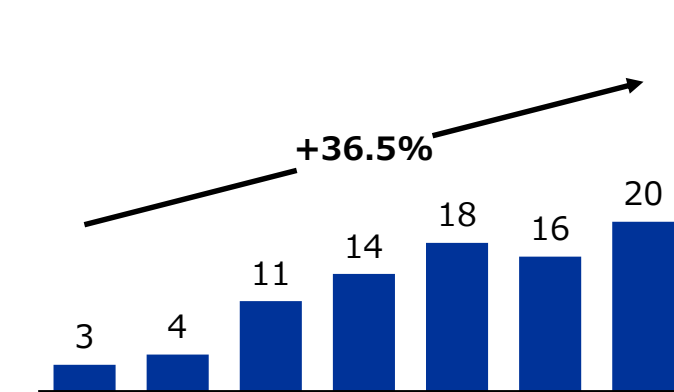
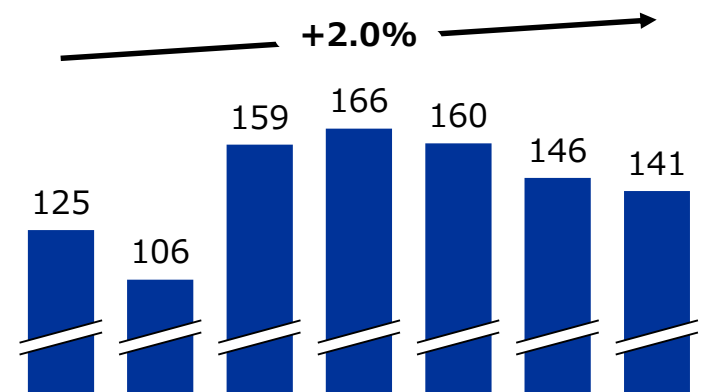
【一般用医薬品事業】



【サージカル事業】



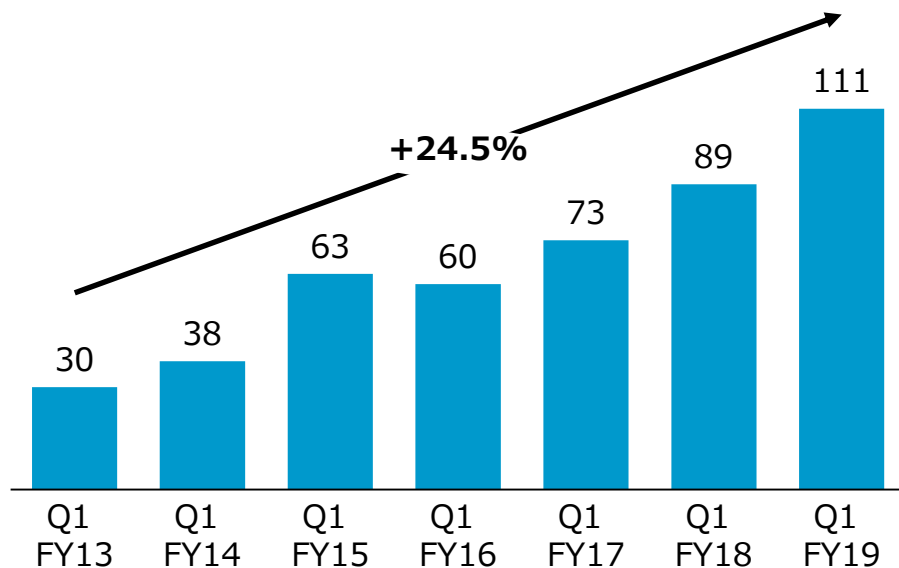
R&D費前
営業利益



事業別実績推移 (アジア事業)

日本円建

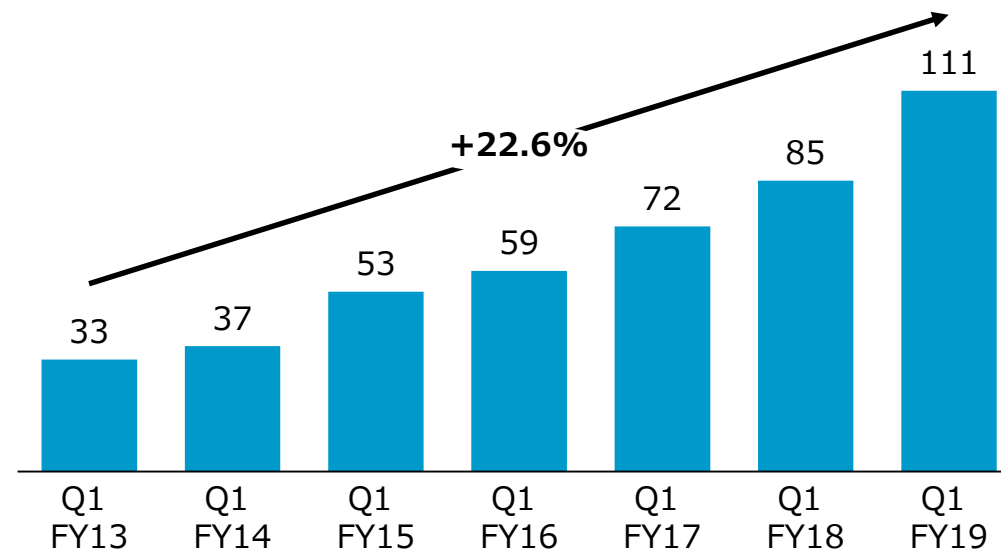
売上収益



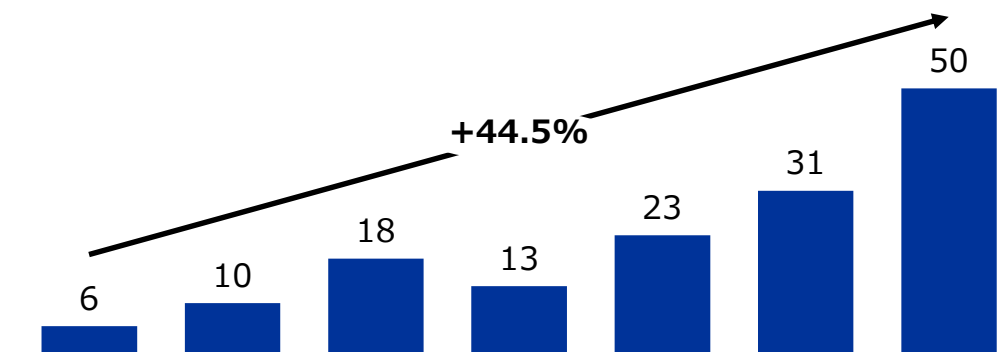
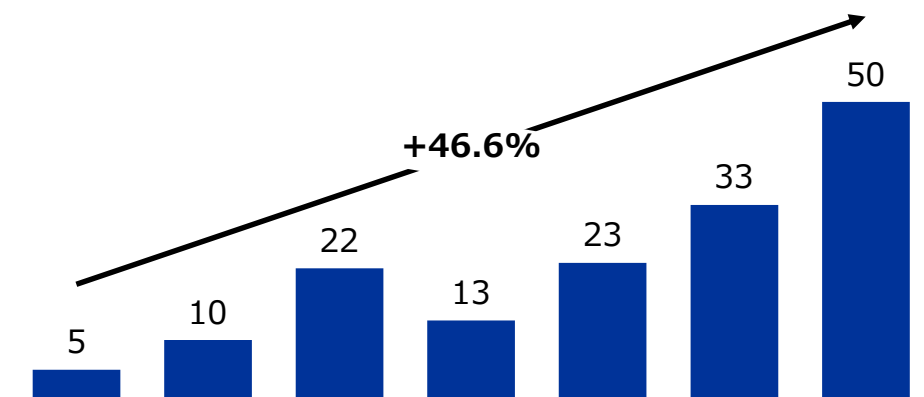
現地通貨ベース

(億円、CAGR)

(FY19レートにて固定して換算)



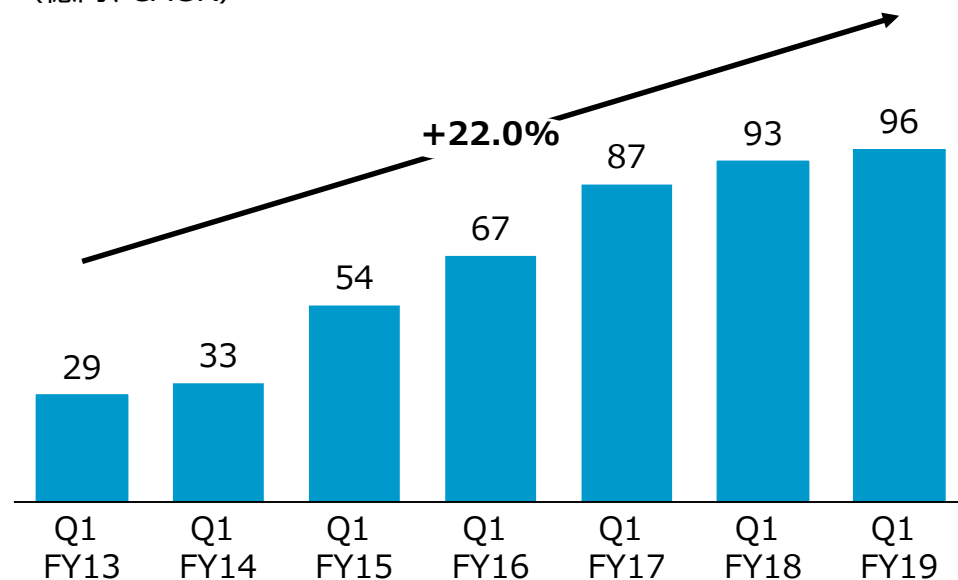
R&D費前
営業利益



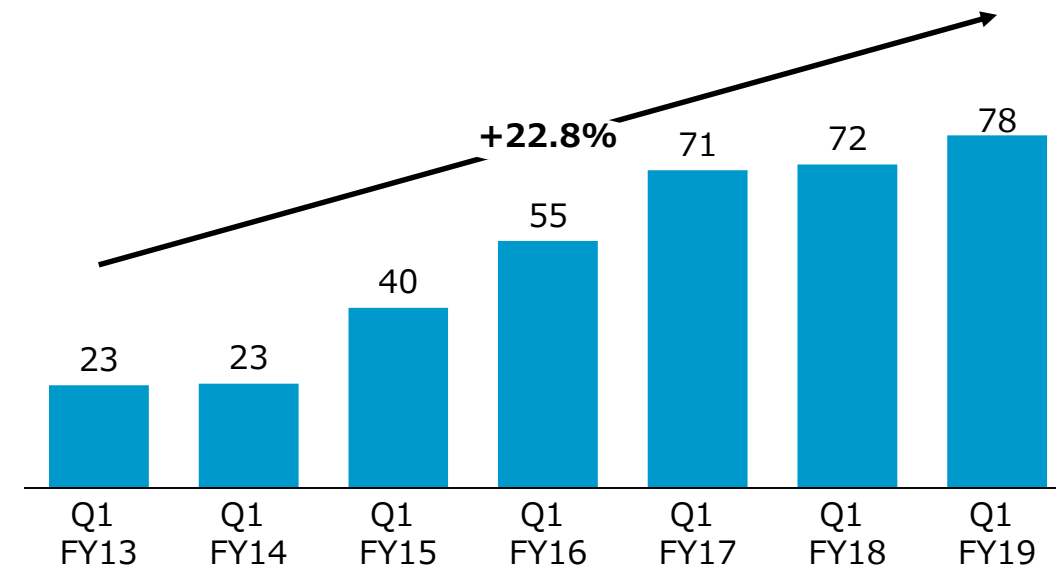
事業別実績推移 (EMEA事業)

日本円建
(億円、CAGR)

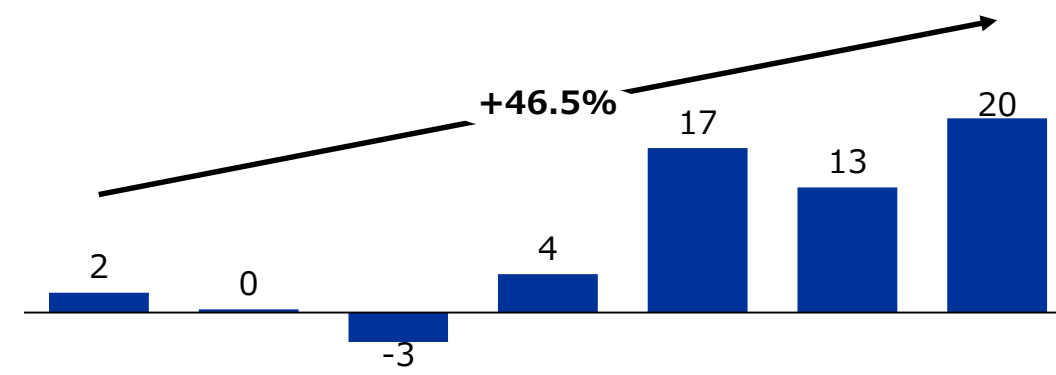
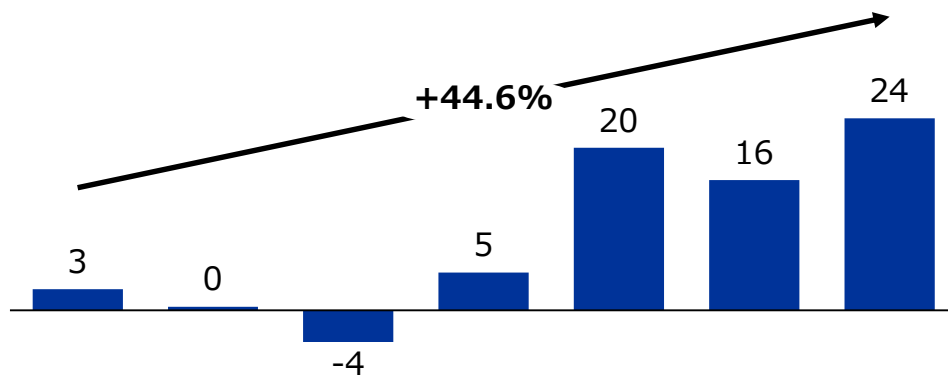
売上収益



EURO建
(百万EUR、CAGR)



R&D費前
営業利益



2019年度通期業績予想（5月9日の発表数値から変更なし）

～MTP2020の中間年度として、成長性ととともに効率性のさらなる向上を目指す

(億円)	2018年度		2019年度	
	実績	業績予想	対前期 増減率	
(コアベース)				
売上収益	2,340	2,480	6.0%	
売上原価	-908	-950	4.7%	
売上総利益	1,433	1,530	6.8%	
販管費	-713	-740	3.8%	
研究開発費	-238	-280	17.9%	
営業利益	482	510	5.7%	
当期利益	361	377	4.5%	
負担税率	25.2%	26.1%		
ROE	12.5%	12.8%	0.3pt	
(フルベース)				
営業利益	451	345	-23.5%	
当期利益	319	232	-27.4%	
負担税率	25.9%	32.4%		
ROE	11.1%	7.9%	-3.2pt	
USD	JPY 110.82	JPY 110.00	+0.7%	
EUR	JPY 128.38	JPY 130.00	-1.2%	
CNY	JPY 16.52	JPY 16.00	+3.3%	

+:円高、-:円安

売上収益

国内：

新製品（エイベリス点眼液、高濃度アレジオン、レンティス コンフォート）を加えた重点製品の成長により、薬価改定の影響を吸収して増収をめざす

海外：

アジア、EMEAともに売上最大化をめざす。

全体で、2,480億円。対2018年度+6.0%の増収。

コアベース

本業からの経常的な利益は順調に成長。

・販管費：740億円。対2018年度+3.8%

新組織体制の下でさらに費用最適化を追求

・研究開発費：280億円。対2018年度+17.9%

2020年度以降の成長を見据えた戦略的投資を継続

営業利益：510億円。対2018年度+5.7%の増益。

フルベース

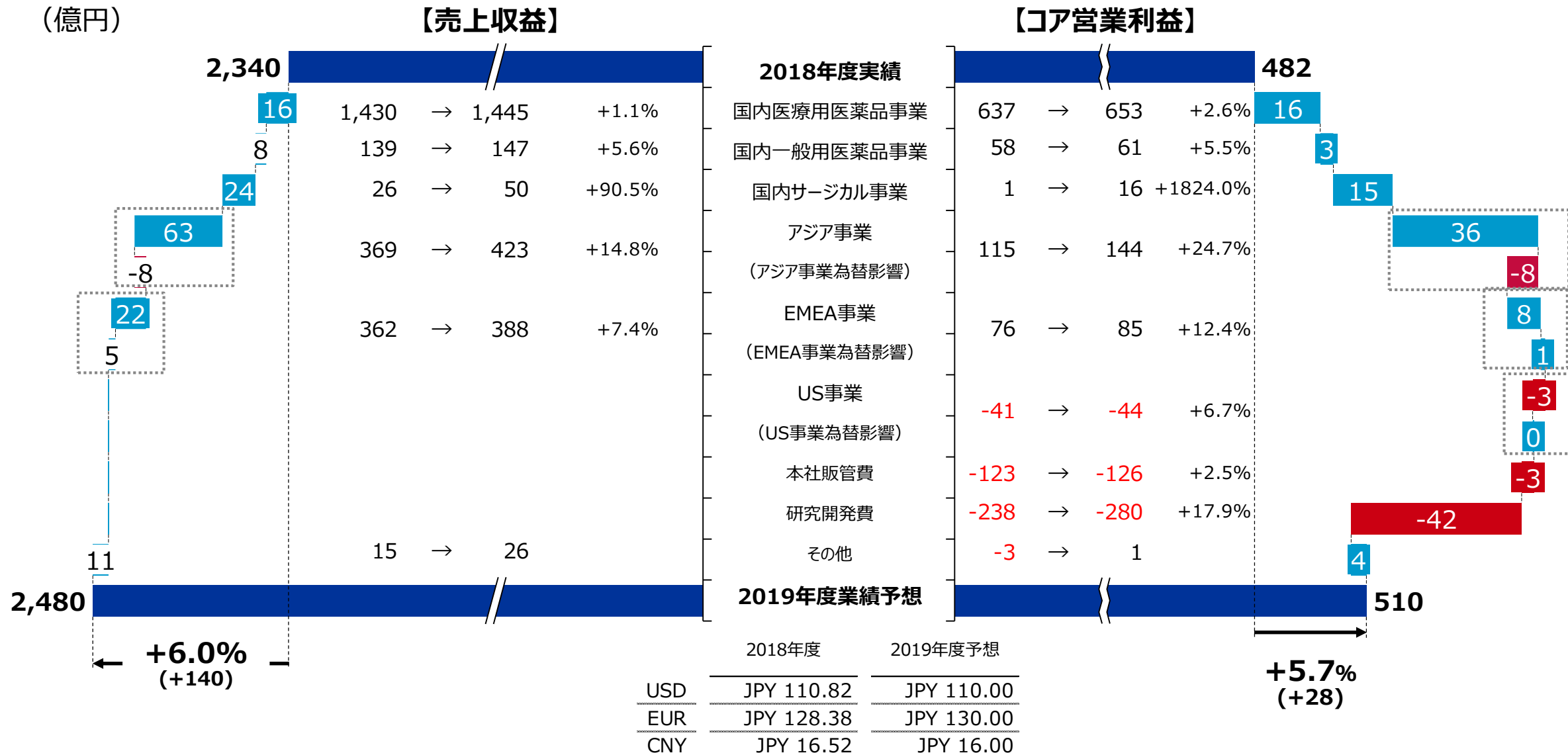
DE-128の開発進捗によるマイルストーン支払い確度上昇の影響もあり、その他費用が増加。

営業利益・当期利益ともに減益見込み。

2019年度業績予想（5月9日の発表数値から変更なし）

～国内外事業の成長と費用最適化の追求により、戦略投資を進めつつ増益をめざす

(億円)



2019年度配当予想（5月9日の発表数値から変更なし）

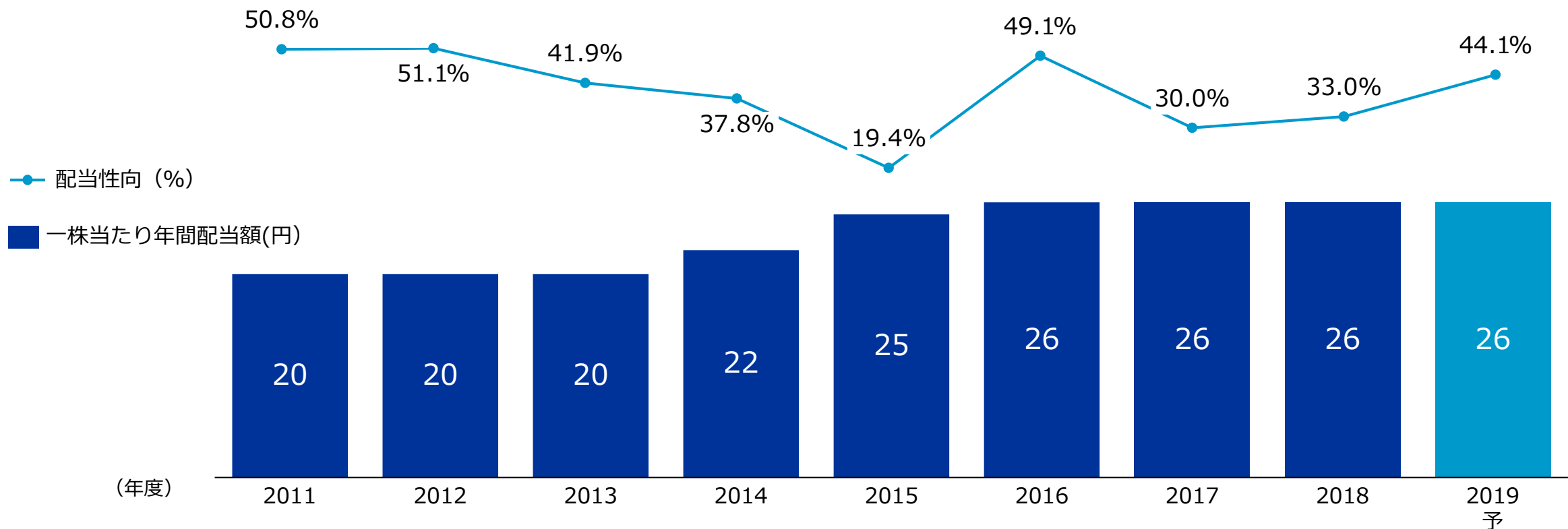
■ 年間配当

● 2019年度通期予想：26円

■ 安定性、持続性を重視した株主還元

■ 2020年以降の成長に向けた中長期的な戦略投資

→この2つのバランスのもとに、配当をはじめとする株主還元策を実施。



自己株式取得額（億円）

総還元性向

2011	-	50.8%
2012	137	134.4%
2013	-	41.9%
2014	-	37.8%
2015	-	19.4%
2016	123	105.6%
2017	-	30.0%
2018	139	76.3%
2019 予	-	44.1%***

*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

***2019年度予想総還元性向については、自社株買い可能性を含まず。

研究開発の現状

パイプライン/製品の開発状況①

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-111 タブコム/タブティコム タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩配合剤	緑内障・ 高眼圧症	中国	現状：P3 計画：2020年度上期 P3終了
		米国	現状：P3 計画：2020年1-6月P3終了
DE-117 エイベリス EP2受容体作動薬	緑内障・ 高眼圧症	日本	現状：上市
		アジア	現状：申請 計画：2020年度上期 承認
DE-126 FP/EP3受容体 デュアル作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2b
		日本	
DE-128 <i>PRESERFLO MicroShunt</i>	緑内障	米国	現状：P2/3 計画：2019年 市販前承認（PMA）の段階的申請完了、2020年 上市
		欧州	現状：CEマーク取得
DE-130A Catioprost ラタノプロスト	緑内障・ 高眼圧症	欧州	現状：P3開始 計画：2021年 P3終了
		アジア	

パイプライン/製品の開発状況②

(2019年8月1日現在)
下線部は更新情報。

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-109 シロリムス 硝子体内注射剤	ぶどう膜炎	米国	現状：P3 計画：2022年度頃 P3終了
		日本	現状：P3
		欧州	現状：P3
		アジア	現状：申請
DE-122 抗エンドグリン抗体	滲出型 加齢黄斑変性	米国	現状：P2a 計画：2019年度下期 P2a終了
		欧州	現状：上市
DE-076C Vekacia / Verkazia シクロスポリン	春季カタル	アジア*	現状：申請 計画：2019年7-12月 承認
		その他	現状：承認 計画：2019年上市
		日本	現状：申請 計画：2019年12月までに 承認
DE-114A エピナスチン塩酸塩(高用量)	アレルギー性 結膜炎	日本	計画：2019年度上期P2/3 開始
		日本	現状：P2 計画：2019年度下期 P2終了
DE-127 アトロピン硫酸塩	近視	アジア	現状：申請 (2019年5月) 計画：2020年1-6月 承認
		日本	
MD-16 眼内レンズ	白内障	日本	

*製品名は「IKERVIS」

参考資料

2019年度第1四半期 要約純損益計算書

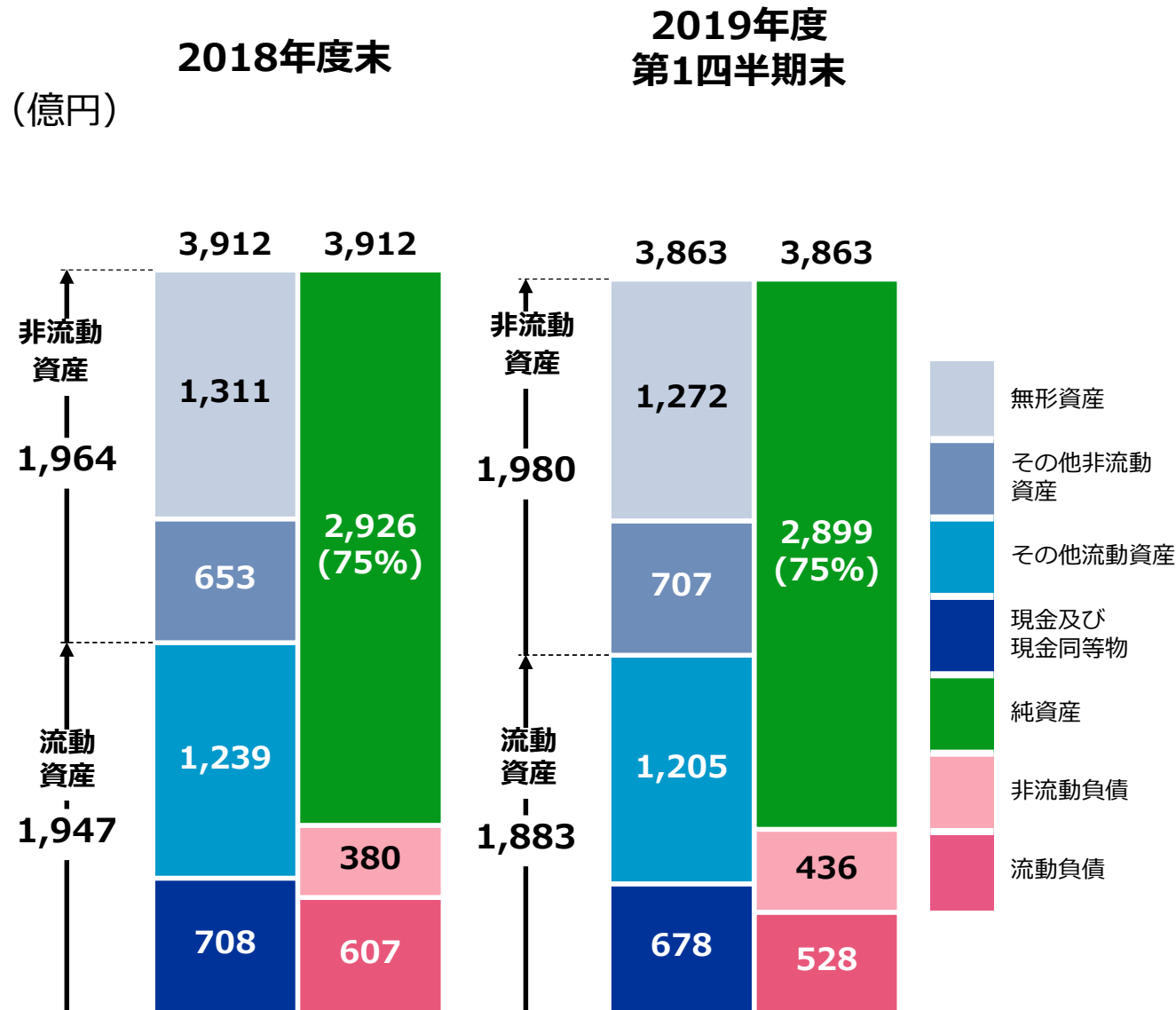
(単位：億円)	2018年度 第1四半期		2019年度 第1四半期		対前期 増減率
	実績	(対売上収 益比率)	実績	(対売上収 益比率)	
売上収益	565		591		4.7%
売上原価	-230	-40.8%	-241	-40.8%	4.8%
売上総利益	335	59.2%	350	59.2%	4.6%
販売費及び一般管理費	-162	-28.6%	-160	-27.1%	-0.8%
研究開発費	-56	-9.9%	-62	-10.4%	9.9%
コア営業利益	117	20.7%	128	21.6%	9.6%
製品に係る無形資産償却費	-17	-3.1%	-25	-4.2%	42.5%
その他の収益	1	0.2%	1	0.2%	-14.9%
その他の費用	-0	-0.1%	-12	-2.0%	3476.7%
営業利益(フルベース)	100	17.7%	92	15.6%	-7.7%
金融収益	5	0.9%	4	0.7%	-11.7%
金融費用	-11	-1.9%	-7	-1.2%	-35.5%
税引前当期利益	95	16.7%	90	15.2%	-4.8%
法人所得税費用	-26	-4.6%	-26	-4.4%	0.3%
(負担税率)	27.5%		29.0%		1.5pt
当期利益(フルベース)	69	12.1%	64	10.8%	-6.7%
コア当期利益	86	15.3%	97	16.4%	12.1%

EMEAでのPRESERFLO MicroShuntソフトローンチ開始に伴い、2019年度より償却を開始。

DE-128の開発進捗ならびに業務提携によるマイルストーン支払時期・確度見直しによる条件付対価の増加による。

上記、条件付対価の増加による費用については税効果の認識が出来ないため、負担税率が上昇。

2019年度第1四半期末 財政状態の推移



	2018年度末	2019年度第1四半期末	増減額
非流動資産	1,964	1,980	15
有形固定資産	317	391	74
無形資産	1,311	1,272	-39
金融資産	300	279	-22
その他	36	37	1
流動資産	1,947	1,883	-64
棚卸資産	352	337	-15
営業債権	846	823	-23
現金及び現金同等物	708	678	-30
その他	41	44	4
純資産	2,926	2,899	-27
非流動負債	380	436	57
長期借入金	36	36	-0
長期未払金	197	206	9
繰延税金負債	94	88	-6
その他	53	107	54
流動負債	607	528	-79
営業債務	321	272	-49
金融負債	121	139	17
未払法人所得税等	72	33	-39
その他	93	85	-8

2019年度第1四半期 セグメント別売上

セグメント別売上収益

(単位：億円)	日本			海外			合計		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	対前期 増減率	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	対前期 増減率	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	対前期 増減率
医薬品事業	380	383	0.6%	184	209	13.2%	565	591	4.7%
医療用医薬品	337	336	-0.4%	183	207	12.8%	520	542	4.2%
眼科薬	336	335	-0.4%	182	206	12.9%	519	541	4.3%
その他医薬品	1	1	6.7%	1	1	-17.3%	2	2	-6.6%
一般用医薬品	35	36	5.3%	1	1	25.5%	35	37	5.6%
医療機器	6	7	14.4%	0	1	380.1%	7	8	26.5%
その他	2	3	31.9%	0	0	-17.1%	3	3	26.0%
売上比率	67.4%	64.7%		32.6%	35.3%				

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2018年度		2019年度		
	第1四半期	通期	第1四半期		通期
	実績	実績	実績	対前期 増減率	予想
設備投資額	13	72	19	44.8%	100
減価償却費及び償却費*	10	40	11	8.8%	48
製品に係る無形資産償却費	17	70	25	42.4%	99
メルク無形資産償却費	15	58	15	0.0%	58
DE-128**無形資産償却費	—	—	7	—	28
Ikervis無形資産償却費	2	7	2	-4.9%	7
その他	1	5	1	41.7%	5

*製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

**DE-128 (PRESERFLO MicroShunt)

国内医療用眼科薬 市場概況

2018年度第1四半期累計

単位 億円	参天販売製品*		市場		参天 販売製品* シェア	順位
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率		
Total	429	3.6%	917	1.5%	46.8%	No.1
抗緑内障剤	89	-3.6%	287	-1.9%	30.9%	No.1
網膜疾患治療剤	168	11.1%	239	10.2%	70.4%	No.1
角膜疾患治療剤	70	-4.3%	114	-3.2%	61.7%	No.1
抗アレルギー剤	51	22.9%	100	13.1%	50.4%	No.1
抗菌点眼剤	13	-18.3%	34	-7.1%	36.4%	No.1

2019年度第1四半期累計

単位 億円	参天販売製品*		市場		参天 販売製品* シェア	順位
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率		
Total	425	-0.7%	914	-0.3%	46.5%	No.1
抗緑内障剤	80	-10.1%	276	-4.1%	28.9%	No.1
網膜疾患治療剤	180	7.2%	260	8.9%	69.3%	No.1
角膜疾患治療剤	70	0.0%	115	1.4%	60.9%	No.1
抗アレルギー剤	48	-4.5%	91	-9.4%	53.1%	No.1
抗菌点眼剤	10	-20.2%	30	-11.6%	32.8%	No.1

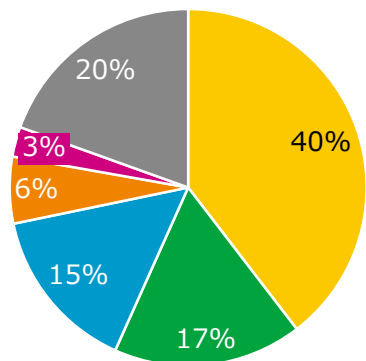
2018年7月1日~2019年6月30日

単位 億円	参天販売製品*		市場		参天 販売製品* シェア	順位
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率		
Total	1,723	1.7%	3,649	0.1%	47.2%	No.1
抗緑内障剤	322	-9.4%	1,086	-5.0%	29.6%	No.1
網膜疾患治療剤	687	9.3%	980	9.3%	70.1%	No.1
角膜疾患治療剤	281	-2.1%	458	-1.0%	61.3%	No.1
抗アレルギー剤	244	13.9%	463	5.2%	52.8%	No.1
抗菌点眼剤	42	-21.0%	122	-10.5%	34.2%	No.1

*製造販売元であるバイエル薬品(株)とのコ・プロモーション製品(抗VEGF薬「アイリニア」)を含む
出典: Copyright © 2019 IQVIA. IMS-JPM 2017.4-2019.6を基に参天分析 無断転載禁止

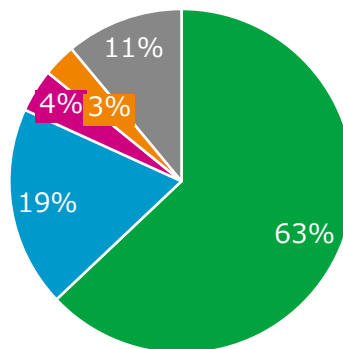
仕向地域別売上収益（グラフ） / 2019年度第1四半期

日本



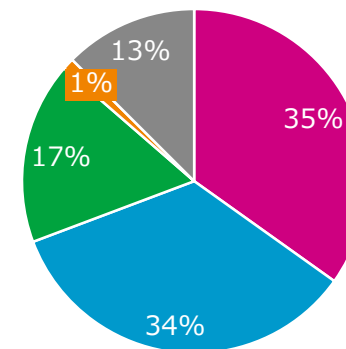
アイリーア*1 硝子体内注射液	151 億円
ジクアス点眼液	36 億円
タブロス点眼液	24 億円
その他	171 億円
合計	383 億円

EMEA



コンプト配合点眼液	24 億円
タブロス点眼液	17 億円
Ikervis	7 億円
その他	47 億円
合計	95 億円

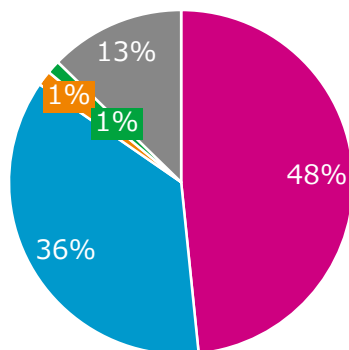
アジア



クラビット点眼液	34 億円
ヒアレイ点眼液	28 億円
コンプト配合点眼液	10 億円
その他	39 億円
合計	112 億円

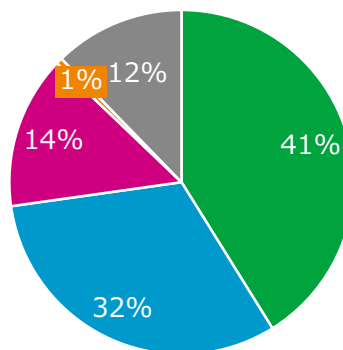
アイリーア*1：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

中国



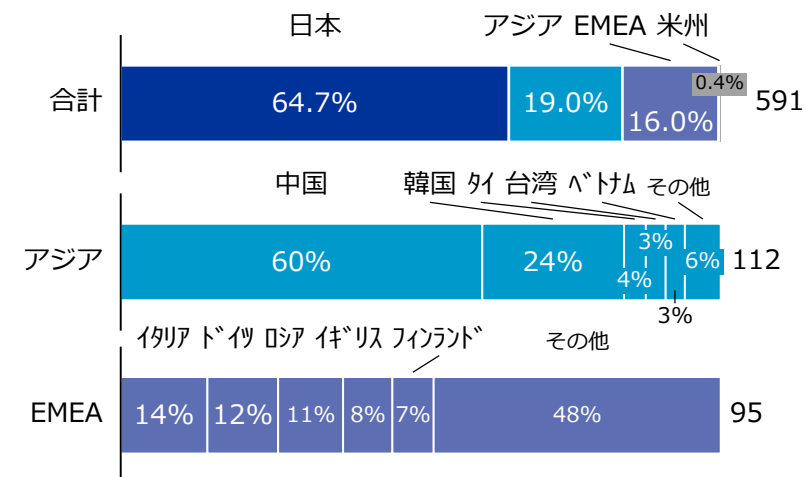
クラビット点眼液	30 億円
ヒアレイ点眼液	24 億円
フルメトロン点眼液	4 億円
その他	10 億円
合計	68 億円

アジア（中国除く）



コンプト配合点眼液	10 億円
ジクアス点眼液	8 億円
タブロス点眼液	5 億円
その他	21 億円
合計	45 億円

主要国・地域別売上（単位：億円）



■ 眼科用VEGF阻害剤 ■ 緑内障治療剤/デバイス ■ 角結膜疾患治療剤 ■ 抗アレルギー点眼剤 ■ 抗菌剤 ■ その他

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

The logo for Santen features a large, stylized letter 'S' on the left. The 'S' is composed of two overlapping shapes: a light blue one on top and a dark blue one on the bottom. To the right of the 'S', the word 'Santen' is written in a bold, dark blue, sans-serif font.

A Clear Vision For Life™